宇商発第６８６号
令和８(2026)年１０月７日

宇都宮市長
　佐藤　栄一　様

宇都宮商工会議所
会頭　　喜 谷 辰 夫

令和９(2027)年度予算化及び措置要望について

平素は、宇都宮商工会議所の事業推進につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、宇都宮市は市制１３０周年の節目を迎える中、誰もが豊かで便利に安心して暮らすことができ、夢や希望がかなうまち「スーパースマートシティ」の実現に向けて着実に前進していること、また、地域に人と投資を呼び込むため、様々な事業に取り組んでいることに対しまして深い敬意と感謝の意を表します。

当所におきましては、「地域企業の持続的発展と経済の好循環に向かって、ともに歩み、挑戦し、選ばれる商工会議所」を基本理念に掲げ、中小・小規模事業者の自己変革への挑戦を支援しているところですが、より一層、実効性を高めるためには行政との連携・協力が不可欠であります。

つきましては、宇都宮市令和９（2027）年度予算編成及び施策の実施に当たって、別添のとおり要望しますので、よろしくお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

宇商発第６８７号
令和８(2026)年１０月７日

宇都宮市議会議長
　岡本　芳明　様



宇都宮商工会議所
会頭　　喜 谷 辰 夫

令和９(2027)年度予算化及び措置要望について

平素は、宇都宮商工会議所の事業推進につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、宇都宮市は市制１３０周年の節目を迎える中、誰もが豊かで便利に安心して暮らすことができ、夢や希望がかなうまち「スーパースマートシティ」の実現に向けて着実に前進していること、また、地域に人と投資を呼び込むため、様々な事業に取り組んでいることに対しまして深い敬意と感謝の意を表します。

当所におきましては、「地域企業の持続的発展と経済の好循環に向かって、ともに歩み、挑戦し、選ばれる商工会議所」を基本理念に掲げ、中小・小規模事業者の自己変革への挑戦を支援しているところですが、より一層、実効性を高めるためには行政との連携・協力が不可欠であります。

つきましては、宇都宮市令和９（2027）年度予算編成及び施策の実施に当たって、別添のとおり要望しますので、よろしくお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

令和９（2027）年度

予算化及び措置要望書

令和８（2026）年１０月

宇都宮商工会議所

目　　次

Ⅰ　企業活力の強化について

１　中小企業等における人材の確保及び育成について（拡充）・・・・・・・・・・・・１
２　行政投資の地域企業への発注について（継続）・・・・・・・・・・・・・・・・・１
３　カーボンニュートラルの実現に向けた企業の取組支援について（継続）・・・・・２
４　中小・小規模事業者の稼ぐ力への支援について（新規）・・・・・・・・・・・・２

Ⅱ　地域経済の活性化について

１　観光振興について（継続）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
２　スポーツによるまちづくりについて（拡充）・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
３　宇都宮北西部地域の振興について（継続）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
４　企業誘致、移住・定住の促進について（継続）・・・・・・・・・・・・・・・・・４

Ⅲ　夢あるまちづくりについて

１　ＬＲＴのＪＲ宇都宮駅西側延伸並びに駅前広場の整備について（拡充）・・・・・５
２　中心市街地活性化について（拡充）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
３　ＭＩＣＥ等の催事誘致とアフターコンベンションの充実強化について（継続）・・５
４　市内商店街への支援強化について（継続）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
５　歴史・文化を大切にするまちづくりについて（拡充）・・・・・・・・・・・・・・６

Ⅰ　企業活力の強化について

１　中小企業等における人材の確保及び育成について（拡充）

地域経済の中核を担う中小・小規模事業者は、慢性的な人手不足を背景に、人材確保や人材育成が経営上の大きな課題となっています。

また、「働き手」として外国人の労働力が欠かせなくなる中で、外国人が安心して暮らせる地域社会づくりの重要性も高まっています。

本市においては、企業の人材確保を支援するため、若者の地元定着、女性・高齢者の就業促進及び障がい者の就労支援、移住・定住の促進など、さまざまな事業に取り組んでおりますが、今後さらに、企業経営の核となる人材確保及び人材育成の充実が図れるよう、次の事項について要望します。

（１）産学官連携によるＵＩＪターン就職への支援の推進、並びに市内大学生や高校生等の地元企業への就職促進
（２）外国人労働者が安心して就労・生活できる環境づくりや多文化共生の地域コミュニティづくりを促進するため、市内企業が行う外国人労働者受入への支援の強化
（３）生成ＡＩ等のデジタル技術を利活用できる人材の育成に対する支援
（４）「宇都宮市奨学金返還支援補助金」の登録企業の拡大及び就活生等への制度周知の強化

２　行政投資の地域企業への発注について（継続）

原材料・エネルギー価格や人件費の高騰等により、中小企業・小規模事業者を取り巻く環境は大変厳しい状況が続いております。中小企業は地域経済や雇用の担い手であることを踏まえ、地域企業がさらに発展していくためには、より一層の受注拡大とともに、労働者の賃金上昇をはじめ働く環境の向上に向けた取り組みが極めて重要であり、そのためには行政投資においても物価動向等を適切に把握し、発注価格に反映することが必要であります。

ついては、地域経済の好循環が促進され、市内事業者が収益を確保して賃上げや生産性向上等に取り組めるよう、次の事項を要望します。

（１）地元建設業界の活性化に向けて、大型公共投資の積極的な実施及び公共工事の優先発注、年間を通した発注平準化
（２）随意契約における適切な基準（上限額）の設定及び、建設工事以外の契約においても現下の物価高騰や資材不足等の状況を考慮した予定価格や納期・工期の設定
（３）「パートナーシップ構築宣言」を行った事業者に対して、入札制度における加点や優先発注等のインセンティブの付与

３　カーボンニュートラルの実現に向けた企業の取組支援について（継続）

本市は、２０５０年までに温室効果ガス排出を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明しています。

脱炭素化をきっかけに、次世代の大きな成長へとつなげるイノベーションを促す投資を促進することによって、産業競争力の強化、新産業の成長を支援し、環境にやさしい都市基盤（ＮＣＣ）と新たな雇用創出など経済と環境の好循環を構築することは、本市の将来像の具現化のためには不可欠なものです。

最近では、各企業とも、「カーボンニュートラルの実現」に向けさまざまな取り組みを始めており、それに伴う「課題」も見えてきております。

このため、中小企業等が積極的に取り組みを行い、より「ゼロカーボンシティ」に向けた機運の醸成が図れるよう、次の事項を要望します。

（１）インセンティブとなる補助金の拡充や表彰制度の実施
（２）積極的に取り組んでいる企業などの好事例や各種施策の周知

４　中小・小規模事業者の稼ぐ力への支援について（新規）

中小・小規模事業者の多くは、原材料・エネルギー価格の高騰、金利上昇や消費低迷など先行きが見通せない厳しい経営環境にあります。

このような中、地域の事業者が、事業環境の変化に柔軟に対応し、事業の見直しや再構築、販路拡大、生産性の向上（デジタル化の推進）など自己変革への挑戦と事業の持続的発展に取り組むことができるよう、次の事項を要望します。

（１）複数の中小企業等が共同・連携して取り組む新商品開発や販路開拓等への支援（マッチング、専門家派遣等）の検討
（２）脱炭素・省エネルギーの促進につながる補助金・融資制度など、中小・小規模事業者の稼ぐ力の強化に向けた各種支援のさらなる周知
（３）デジタル化を促進するポータルサイトの構築（各種支援策、事例等の情報一元化と周知）及び「ＩＣＴ利活用促進補助金」制度の対象業種・対象経費の拡充
（４）当商工会議所が取り組む価格転嫁や生産性向上、賃上げ促進など事業者の「稼ぐ力」を強化する事業への支援の継続
（宇都宮商工会議所事業補助金及び中小企業相談所事業補助金の継続）

Ⅱ　地域経済の活性化について

１　観光振興について（継続）

令和７年の本市の観光客入込数は、宇都宮餃子を目的とした来訪やライトライン開業の影響もあり、１，５４６万人と令和６年に引き続き１，５００万人を越えました。

令和８年度も本市では、ふるさと宮まつり、宇都宮餃子まつり、プロスポーツなどのビッグイベントが開催されます。これらを国内外の観光・ビジネス客を呼び込む絶好の機会と捉えて、新たな観光需要の創出に戦略的に取り組むことが、さらなる発展に繋がります。このため、次の事項を要望します。

（１）観光客属性や宿泊、交通、ＳＮＳ・ウェブアクセスなど各種データの収集及び活用
（２）２０３１年度の（仮称）羽田空港アクセス線開通を見据え、宇都宮と羽田空港を結ぶ直通列車の本数確保や速達性等について、関係機関への要望

２　スポーツによるまちづくりについて（拡充）

宇都宮市を本拠地とするプロスポーツチーム（自転車、サッカー、バスケットボール）の活躍や数々の国際的スポーツイベントの開催は、経済効果はもとより、「宇都宮ブランド」推進や市民の誇り・連帯感の醸成など多様な面から地域振興に貢献しています。

また、令和７年度のアークタウン宇都宮オープンに続いて、ラグビーチーム「ホンダヒート」が拠点を移し、さらに２０３０年開業を目指す「新ブレックスアリーナ」整備計画が宇都宮ブレックスから発表されるなど、スポーツを活用したまちづくりが一層進展することから、次の事項を要望します。

（１）各プロスポーツチームの主体性を尊重しながら、行政としての連携・支援の継続
（２）新ブレックスアリーナ整備への支援の検討
（３）アウェイサポーター向けの観光情報の発信や市内の周遊促進策の検討

３　宇都宮北西部地域の振興について（継続）

宇都宮北西部地域は、大谷地区をはじめ、道の駅、動物園、民間農場などの地域資源を有する本市の観光拠点として大きな役割を担っております。

さらに、夜間の来訪を促すイベント開催や令和９年度の完成を目指す北西部地域体育施設は、ＢＭＸなど新たなスポーツ活動の拠点となり、さらなる集客が期待されますことから、引き続き官民連携のもと、民間投資を促進しながら交流人口拡大と地域振興を

図るため、次の事項を要望します。

（１）高速道路で来訪される玄関口となり、本市の観光及び中心市街地の活性化に大きく貢献する（仮称）大谷スマートインターチェンジの着実な整備
（２）ＪＲ宇都宮駅や中心市街地から各施設へのアクセス情報の分かりやすい提供及び地域内の移動・回遊性の向上、大谷地区への観光客の安全性・利便性を向上するため、県と連携した歩道・街灯・自転車レーン等の整備

４　企業誘致、移住・定住の促進について（継続）

製造業の国内回帰や住宅価格高騰、ライフスタイルの多様化、災害リスクの回避等に伴い、大都市圏から地方への企業移転や従業員等の移住が見られます。

つきましては、首都との交通利便性に優れ、自然災害が少ない本市への企業誘致や移住定住の取り組みを積極的に推進するとともに、市内進出を希望する企業やビジネスを拡大する地域企業の受け皿となるよう、新たに選定された２つの産業団地（候補）の着実な整備を要望します。

Ⅲ　夢あるまちづくりについて

１　ＬＲＴのＪＲ宇都宮駅西側延伸並びに駅前広場の整備について（拡充）

ライトラインは、定時性・速達性に優れた基幹公共交通として定着し、本市東部の企業立地や住宅開発が促進されるなど、公共交通と一体となったまちづくりが進展しています。

このような成果を踏まえ、中心市街地を含めた本市全体の発展に向けて、ＪＲ宇都宮駅西側への早期延伸が重要となっていることから、次の事項を要望します。

（１）ＬＲＴ駅西側延伸の着実な推進に向けて、大通り地下埋設物を考慮した詳細な事業スケジュールの明確化
（２）都心環状線や内環状線、駅西口周辺等の円滑な交通対策
（都心部流入抑制に係る広報の強化、４車線化や交差点改良など）
（３）官民が一体となったまちづくりを推進するため、駅西口広場整備等の詳細かつ速やかな情報発信

２　中心市街地活性化について（拡充）

県都である宇都宮市の中心市街地は、居住者はもちろんのこと来街者のさまざまなニーズに応える機能を備えるとともに、都市の品格と文化が薫る、市民が誇れる空間となることが期待されています。

つきましては、人々が集う空間として安全安心な街であることを基本に、各エリアの個性を生かしながら、官民が協働するまちづくりが行われるよう、次の事項を要望します。

（１）高齢者や子どもが安心して長く滞在できる空間の創出
（利用者に配慮した快適な休憩スペースや公衆トイレの整備など）
（２）屋外公衆無線ＬＡＮ（フリーＷｉ－Ｆｉ）の面的な整備
（宇都宮駅東口・西口の駅前広場や餃子通りなど来街者でにぎわうエリア）
（３）再開発に伴う協同組合宇都宮餃子会直営「来らっせ本店」の移転について、組合の主体性を尊重しながら、市と当商工会議所が連携した継続的な店舗の運営に向けたサポートの検討

３　ＭＩＣＥ等の催事誘致とアフターコンベンションの充実強化について（継続）

令和７年度に本市で開催されたＭＩＣＥは２５０件、参加者は２２万人を超え、会場

や宿泊施設の確保が難しい時期があるほど、全体としては順調に推移しており、消費の増大や企業活動の活発化などさまざまな効果をもたらしています。

つきましては、ＭＩＣＥ推進により「地域の稼ぐ力」が一層向上されるよう、次の事項を要望します。

（１）国際会議などの宿泊ニーズを満たすハイブランドなホテルの誘致
（２）県内自治体、市内事業者等との連携による観光資源（ジャズ、カクテル、餃子）を活用したアフターコンベンションの充実

４　市内商店街への支援強化について（継続）

本市内の商店街は、コミュニティの一員として、地域に密着したサービスを展開してきましたが、近年は、店舗等施設の老朽化、インターネット通販や大型量販店との競合等、さまざまな要因から商店街会員が減少しており、特に郊外の商店街は深刻さが増しています。

こうした状況下において、ネットワーク型コンパクトシティ（ＮＣＣ）の推進にあたり、商店街振興への積極的な取り組みを後押しできるよう、次の事項を要望します。

（１）魅力ある商店街等支援事業の補助率の拡大・補助金拡充
（２）商店街が行う安全安心に資する取り組みに対する継続的な支援（オリオン通り等）

５　歴史・文化を大切にするまちづくりについて（拡充）

第３次宇都宮市文化振興基本計画では、デジタル化やライフスタイル変化、グローバル化等を背景として、今後は観光分野との連携や歴史文化芸術資源を活用した地域の活性化を目指すとされています。

また、八幡山公園と大通りを有機的に結ぶ「公園通り」や、旧栃木県立体育館跡地において、県による「文化と知」の創造拠点整備構想が進められており、中心市街地と有機的なつながりを深められる絶好の機会が到来しています。

つきましては、子どもからお年寄りまで郷土の歴史や文化に親しみを深め、また、それらを生かした地域活性化やシビックプライドの醸成が図られるよう、次の事項を要望します。

（１）文化財や歴史的資料、ジャズ等を活用した文化情報の発信・交流拠点の整備
（２）二荒山神社と城址公園を結ぶ「歴史軸」であるバンバ通り・御橋通りを歴史や文化にふれられる魅力ある空間に整備（都心部まちづくりプランの推進）